

# 自転車国内販売動向調査月報ダイジェスト(平成24年4月)

当協会では、毎月全国100の標準自転車小売店を対象に、自転車の販売に関するアンケート調査を実施し、「自転車販売動向調査月報」としてとりまとめ発表しております。

平成24年4月の調査がまとまりましたのでその概況をお知らせします。なお詳しくは月報をご参照ください。

## ◎調査店1店当たりの販売台数

平成24年4月の1店当たりの新車販売台数は前月比105.0%の31.3台となり、前年同月比では0.7台減の97.8%となった。車種別でみるとシティ車が前年同月比88.2%、前月比でも74.5%と下回っている。前年同月より上回ったのがホーム車105.6%、幼児車128.6%、マウンテンバイク128.6%で、横ばいが折りたたみ車、下回ったのが子供車96.6%、スポーツ車93.5%、電動アシスト車94.7%である。

## ◎自店や他店の動向など調査店から寄せられたコメント

各店舗から寄せられるコメントは、「4月になり急に暖かくなり自転車の売れ行きがよくなった。一般車は量販店に押されているがスポーツ車は売れ行きがよい」(岐阜)、「4月に入り学校での自転車点検、交通教室の前に新1年生がよく来店し購入した」(京都)など、良かったと示すものもあるが、前年同月に見られた震災特需に絡んだ「昨年の震災の時に自転車を購入された方が多く、3月4月の販売はあまりよくない」(茨城)、「こんな4月は前代未聞、春需の雰囲気まったくなし。天候も安定しなかったことも要因かとも思うが、やはり前年の震災がらみの特需で動きがとても鈍かった印象」(東京)などのコメントもあった。

また通学車の販売が思わしくなかったようで、「今年も、残念だが新入学時の自転車は1台もなかった。店前の通学車は量販店車ばかり」(東京)、「3月が悪かった分4月に期待したが、期待はずれに終わった感じ。通学車は激減」(愛知)、「通学車に多少期待したが昨年よりさらに悪くなった」(大阪)、「今年度は高校生の通学車が最悪、高校生のほしいものは携帯電話で、自転車は古いものでも何でもよいのだろう」(岡山)、「昨年とくらべ通学車の動きが特に悪い、来客も少なくいつもの4月とはちがう感じがした」(高知)などが目立った。

調査店1店当たりの販売台数(総合)

[全国9地域 店舗：100]

(平成24年4月)

[単位：台 構成比：%]

車種別	本 月		前 月		前月比	前年同月		前年同月比
	台数	構成比	台数	構成比		台数	構成比	
シティ車	8.2	24.3	11.0	35.1	74.5	9.3	27.0	88.2
ホーム車	13.1	38.9	12.3	39.3	106.5	12.4	35.9	105.6
折りたたみ車	0.9	2.7	0.5	1.6	180.0	0.9	2.6	100.0
子供車	2.8	8.3	1.2	3.8	233.3	2.9	8.4	96.6
幼児車	0.9	2.7	0.5	1.6	180.0	0.7	2.0	128.6
マウンテンバイク	0.9	2.7	0.6	1.9	150.0	0.7	2.0	128.6
スポーツ車	2.9	8.6	2.2	7.0	131.8	3.1	9.0	93.5
電動アシスト車	1.8	5.3	1.5	4.8	120.0	1.9	5.5	94.7
合 計	31.3	92.9	29.8	95.2	105.0	32.0	92.8	97.8
中古車	2.4	7.1	1.5	4.8	160.0	2.5	7.2	96.0
総合計	33.7	100.0	31.3	100.0	107.7	34.5	100.0	97.7
モーターバイク	0.7	2.1	0.5	1.6	140.0	0.6	1.7	116.7

注：モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。

次回6月の販売動向調査結果は7月初旬にHP掲載の予定。

財団法人 自転車産業振興協会